

府中明郷中学校第3学年 社会科学習指導案

単元名：選挙のしくみと課題

平成25年9月26日(木) 5校時 3年2組

(男子11名 女子10名 計21名)

場所 東棟3階 社会科教室

授業者 行廣 隆宣

単元について

○単元観

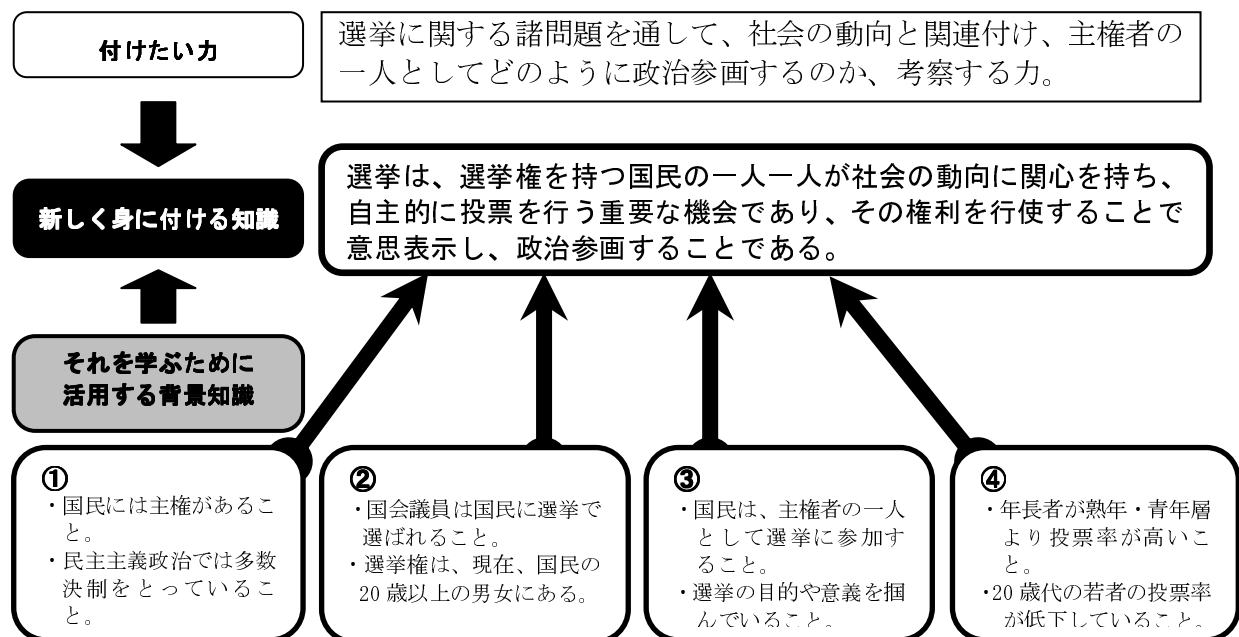
学習指導要領の公民的分野の目標では(1)「個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民としての必要な基礎的教養を培う。」と示されている。また主権者として政治に参加することの意義について考えさせる学習については、内容(3) 私たちと政治 (イ) 民主政治と政治参加で「(略) また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。」と示されている。

現在の日本は、急速に変化する国内外の社会情勢に対応するために、国民の一人一人が政治に対する関心を高め、国民の意思を国政に十分反映させることが重要であるが、一方で投票率の低下など、国民の政治的無関心が進んでいるともいわれている。

本単元では、生徒にとって身近で具体的な事例を取り上げて学習を展開し、現在の政治に対する関心を高め、政治的な事象をとらえる見方や考え方の基礎を養うとともに、将来国政に参加する公民として積極的に政治参加をする意欲と態度を育てることができる単元として適している。

また、小学校6年生で学習した「選挙に行くことが政治に参加することの第一歩であること」の背景となる要因や根拠を、歴史的分野の「戦後の普通選挙の実施」や公民的分野の「民主主義と政治」などを踏まえ、様々な社会事象と関連付けて、考えさせることができる。

【本時を中心とした付けたい力】



○生徒観

「平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」単元を扱う上で、次のようなレディネステストを実施した。なお下表の丸数字は、上記「単元観」図中の丸数字に対応している。

①	・大まかな国のあり方や政治の進め方を決定する（ ）が、国民にはある。 ・話し合いをすすめ、物ごとを決めるときには、わが国では（ ）制をとっている。
②	・国会議員は、国民によって（ ）で選ばれる。 ・選挙権は、現在（ ）歳以上の国民に認められている。 ・第23回参議院議員選挙の投票率は何%ぐらいだったでしょうか？
③	・最近では、選挙に行かない人もたくさんいるそうです。それでは、（ ）に参加する権利が十分に生かされないね。 ・積極的に投票に参加したいと考える人の理由・根拠を、「国民」と「権利」の二つの語を使って説明しなさい。



上記レディネステストから、本時を中心とした既有知識や背景知識の獲得状況を、下表のように層レベルに分類した。(学級 20 人)

第3レベル	・選挙の意義や目的を理解している。 ・投票率の低下について、様々な社会事象と関連付けて、自ら考え、判断している。	1 人
第2レベル	・選挙の意義もしくは目的のどちらか一方のみの理解に止まっている。 ・民主主義政治では多数決制をとっていること、世論や主権が国政の指針を示しており、その主権が国民にあることの意味を理解していない。	8 人
第1レベル	・選挙の意義・目的共に理解が不十分である。 ・どのような人に選挙権があり、どのように行われるか大まかに理解している。 ただ、選挙で投票に行くということが、政治に参加するという認識はない。	11 人

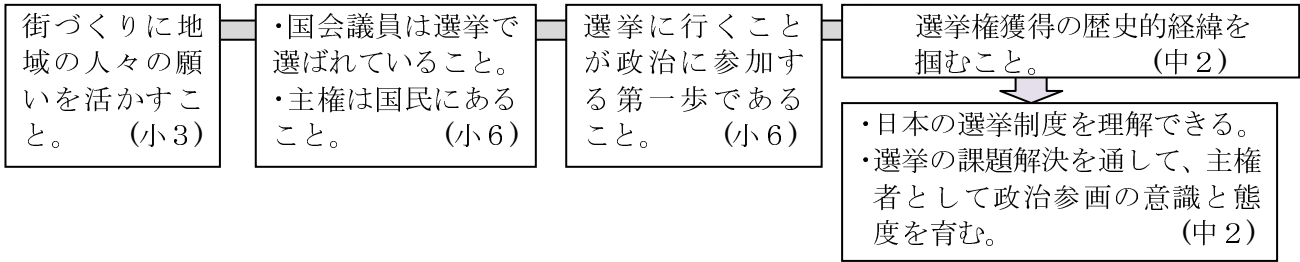
このことから、選挙制度について大まかに理解できており、第2レベルに到達している生徒は半数近くいるが、第3レベルに到達している生徒は少ない。「主権」や「選挙の意義・目的」など、概念的・抽象的事象の理解を問う学習内容なので、認識・理解が不十分だと考える。

しかし、本クラスの生徒は、社会的事象に対する興味・関心は高く、独創的な考えを意見として表現する力もある。その力を確実なものとし、様々な場面で活かせるよう、社会的事象を結びつけ、多面的・多角的に思考・判断し、因果関係や根拠を明らかにして表現する力をつける。

○指導観

本単元では、社会的事象を結びつけ、多面的・多角的に思考・判断し、因果関係や根拠を明らかにして表現する力を育てるため、また「主権」や「選挙の意義・目的」など、目に見えにくい・形のない・人によって異なる概念的・抽象的事象の理解を深めるため、本時では、選挙に関する諸問題の中から「投票率の低下」に焦点を当て、「主権者の一人として選挙に参加する意義」を「自分ならどう行動するか？」という視点で考えさせる。その際、「政治や経済などについての見方や考え方の基礎」を学び、「投票率の向上」の問題解決していく過程で思考力・判断力を身に付けさせ、そのための資料の読み取らせ方や個人思考の時間保障・グループ活動を取入れ、他者と対話すること、議論することを通して、自分の思考・理解が深まるという実感、他者と関わりながらより良く問題解決をする楽しさを体感させる。

既習事項との関連図



指導の工夫のポイント

(1) 指導内容・指導方法について

課題となっている力を育成するため、次のことを指導改善のポイントとする。

- ① 社会的事象と結びつけて思考・判断する力
→ 参議院議員選挙投票率の推移を推測し、その要因を考察する導入場面の設定。
- ② 既有知識と背景知識を関連付ける力
→ 新聞記事を参照しながら、既有知識と結び付ける個人思考の場面の設定。
- ③ 因果関係や根拠をもとに表現する力
→ 18歳選挙権の要求の理由・背景を個人思考し、学習小集団内で発表する場面の設定。

(2) 「ことばの教育」との関連

小集団での話し合い場面・学級全体での交流場面

・・・多面的・多角的考察から根拠を明らかにし説明する力。

(3) 支援を要する生徒の実態

- ・生徒 A・・・板書をノートに記入しない。資料は読み取ろうとすることもあるが、比較して類推するなど、思考力が弱い。
- ・生徒 B・・・板書をノートに記入しようとするが、時間がかかる。思考しようとしていない。
- ・生徒 C・・・社会的事象に関して興味・関心が高く、知識も豊富である。しかし、授業中、例えば説明中であっても、思いついた疑問についてはその場ですぐに解答を得られないと、イライラする。他の生徒の意見を受け入れにくい状況がある。

単元の目標

単元の目標：将来の民主政治の担い手として主権者である自覚を深め、社会事象を関連付けながら思考・判断し、主体的に政治に参画する態度を育むことができる。

社会事象への関心 ・意欲・態度	社会的な思考 ・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象に ついての 知識・理解
将来国政に参加する公民として、みんなで話し合い、決定するという民主政治の基本的な考え方に立ち、積極的に話し合いに参加し、考えようとしている。	選挙は、主権をもつ国民の意思を政治に反映させるための主な方法であって、議会制民主主義を支えるものであることに気づくことができる。また主権者として主体的に政治に参加することの意義について考察し、その過程や結果を表現している。	最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞記事やインターネットなどを活用して資料を収集し、複数の資料を比較して、課題に即して読み取ったり、まとめたっている。	選挙の意義と日本の選挙制度について理解し、その知識を身につけている。

指導と評価の計画

次	学習内容（時数）（全5時間）	評 価					
		関	思	技	知	評 価 規 準	評価方法
1	「市長になって考えてみよう」という学習活動を通して、政治への興味・関心を持つ。	○				国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。	観察 ノート
2	民主主義とは何か、なぜ議会制民主主義を取り入れているかなど、独裁政治や専制政治と比較するなどしてその考え方や意義について考える。				○	議会制民主主義において、「多数決の原理と少数意見の尊重」が必要であることを理解している。	観察 ノート
3	政党の政権公約を調べ、比較することを通して、現在の政党や日本の政治について関心を持つ。			○		インターネットなどを活用し、各政党の政策を読み取っている。	観察 ノート
4	選挙の課題について、具体的な事例を取り上げ、選挙に参加する重要性について考える。 （本時4／5）		○			選挙課題について、有権者の投票行動を選挙制度と関連付けて考察し、主権者として選挙権の行使のあり方を表現している。	観察 ノート
5	選挙以外の様々な政治参加の方法について具体的な事例を通して考える。		○		◎	多様な政治参加の方法を理解するとともに、世論形成においてマスコミが大きな役割を持っていることに気付いている。	観察 ノート

（府中市小中一貫教育生活科・社会科カリキュラムを参考）

本時の学習

(1) 本時の目標

選挙の課題について現状を知り、具体的な事例から、主権者の一人として選挙に参加することの意義を考察することができる。
（思考・判断・表現）

(2) 期待する生徒の姿(A～C)

生徒A 既習事項などから、自らの考えを理由も併せて表現することができる。

生徒B ノートを取り、選挙に関する諸問題を自らに置き換え、意欲的に学習に臨むことができる。

生徒C 周りの生徒の意見の良いと思う点を受け入れ、自らの考えを高めることができる。

(3) 本時の学習展開

学習活動		指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
1 資料の提示・目標の確認			
5分	<p>○投票率の推移を示したグラフを提示する。</p> <p>○既習事項を確認する。</p>	<p>・参議院投票率の推移を示す折れ線グラフ、平成25年参議院議員選挙の年代別投票率を示すグラフを示す。(出典：明るい選挙推進協会)</p> <p>・小学校の学習内容を想起させる。(国民主権・多数決制の原理)</p>	
2 選挙の問題点に気づかせる			
10分	<p>○提示した資料の説明。</p> <p>意識づけ なぜ投票率は低下しているのだろうか。また、平成25年の参議院議員選挙の投票率がさらに低下したのは、なぜだろうか？</p> <p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晴れて、行楽日和で投票に行く人が少なかったから。 ・公約などをどのように判断して、誰に投票したら良いのか分からなかったから。 ・国政に対して明るい展望が見えず、期待感の無さから。 ・投票する権利を放棄した。 	<p>・投票率が低下し、そのまま推移しているのはなぜだろう？</p> <p>・自由に発表させる。多くの意見が出るように、既習事項や新聞記事の掲示などを活用する。</p> <p>・平成25年の参議院議員選挙の争点は多くあった点を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇消費税増税の是非。 ◇中国など近隣諸国との外交政策。 ◇TPP参加の是非。 ◇原子力政策に関する是非。 	
3 選挙の諸問題を個人考察			
10分	<p>学習課題 現実には20歳代でもこんなに投票率が低いのに、なぜ18歳選挙権の実現を望む声が上がっているのか？</p> <p>○個人で思考する。</p> <p>予想される生徒の反応</p> <p><権利の拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国では18歳から選挙権が与えられる国が多いから。 ・主権者の一人として十分判断できるから。 ・10歳代の若者にも、実現して欲しい願いがあるから。 <p><権利の選択></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率の低い20歳代よりも18～20歳の方が、時間的に余裕があるので、選挙権があっても良いから。 ・投票は個人の自由だが、権利としては保障しておいた方が良いから。 	<p>・新聞記事を提示し、その資料を通して、「投票」＝「政治参加」とつながるよう、「18歳選挙権の要求の理由や背景」を考察させる。</p> <p>・既習事項や背景知識を活用できるよう机間指導を行う。</p> <p>支援のことば 投票するときに一番大切にすることは何ですか？</p> <p>*生徒A・生徒Bへの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の語句を利用するよう机間指導しながら支援する。 	<p>言語技術の活用</p> <p>理由や根拠を明らかにして、考えや意見をまとめる力</p> <p>・根拠を明らかにして自らの考えを記述することができたか。(ノート)</p> <p>・その際、<権利の拡大><権利の選択>に分類して板書する。</p>

4 意見交流で思考を深める（練り合う）

15分	<p>○学習班で意見を出し合い、思考を深める。</p> <p style="text-align: center;">(表)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>引き出したい生徒の回答</p> <p>・様々な意見を政治に反映させるためには、幅広い年齢層の投票が必要だと考えるから。</p> <p>・10歳代でも、社会のできごとに興味を持ち、自らの判断で、私たちの代表を選ぶ意識を持つことができるから。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が発表できるよう留意し、班の意見をまとめさせる。 ・多様な意見を1つにまとめ、学習班の意見として発表させる。 ・発表された班の意見で、参考になるものは、ノートに記述させる。 ・「理由・根拠」を明らかにして発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*生徒Cへの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点があるときの対応として質問カードを準備しておく。 ・しっかり聴き取らせ、ノートに書き留めるため、教科書や資料集の他のページは開かせない。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>言語技術の活用</p> <p>理由や根拠を明らかにして、考えや意見をまとめる力</p> </div>
-----	--	--	--

5 今日の学習を振り返る。

10分	<p>○<権利の拡大><権利の選択>の両方の意見に共通している考え方は何ですか。</p> <p>○まとめる</p> <p>○振り返りシートへの記入。</p> <p>○次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「選挙は、○○の手段の一つである」○○に適する文を書き入れさせるようにしても良い。 ・「無投票」と「白票」の違いを切り口にしても良い。 ・共通点から合意を導き出す。 ・「主権者である国民の一人として選挙をどのように考えるのか」を問うことで、本時を振り返る。 ・学習資料や板書で本時を想起させる。 ・本時の授業で明らかになったこと、疑問として残ったことを明記する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙で投票することの意義について、自分なりの根拠や理由を明らかにした上で、まとめることができたか。 ・上記のまとめから、有権者となる将来、投票に行く＝願いや考えを反映する＝政治参画する意志が高まったか。 (ノート)
-----	--	---	---

(1) 次の()に適する語を答えなさい。

- ・大まかな国のあり方や政治の進め方などを決定する(①)が、国民にはある。
- ・話し合いをすすめ、物ごとを決めるときには、わが国では(②)制をとっている。

①		②	
---	--	---	--

(2) 次の()に適する語を答えなさい。

- ・国会には衆議院と参議院があり、それぞれの議員は、国民によって(①)で選ばれる。
- ・わが国では、(①)権は、現在(②)歳以上の国民に認められている。

①		②	
---	--	---	--

(3) 次の会話文の()に適する語を、また下線部についての質問に答えなさい。

山田くん 「市や県でも選挙を行っています。みんなが直接議会に出席することはできないから、かわりに議員を選ぶんだね。」

鈴木くん 「最近では、選挙に行かない人もたくさんいるそうです。それでは、(①)に参加する権利が十分に生かされないね。」

岡本さん 「わたしたちの(②)を実現するためにも、選挙に行くことが大切です。わたしも早く選挙に行きたいな。」

① 「選挙に行かない人もたくさんいる」とありますが、その理由を答えなさい。

①		②	
③			

(4) 今年7月21日に行われた選挙は、衆議院・参議院のどちらですか。()

- (1) 第23回参議院議員選挙(平成25年7月21日投票)で投票をした人は、選挙権を持っている人のうち、何%ぐらいだと思いますか?

%

- (2) 法律が改正されて、あなたにも選挙権が与えられるとします。そのことを踏まえて次の問いに答えなさい。

① あなたは投票に行きますか?

投票に行く ・ 投票に行かない

② ①で投票に行くと答えた人は、その理由・根拠を「**国民**」と「**権利**」という二つの語を使って、説明しなさい。

①で投票に行かないと答えた人は、その理由・根拠を簡潔な文章で説明しなさい。

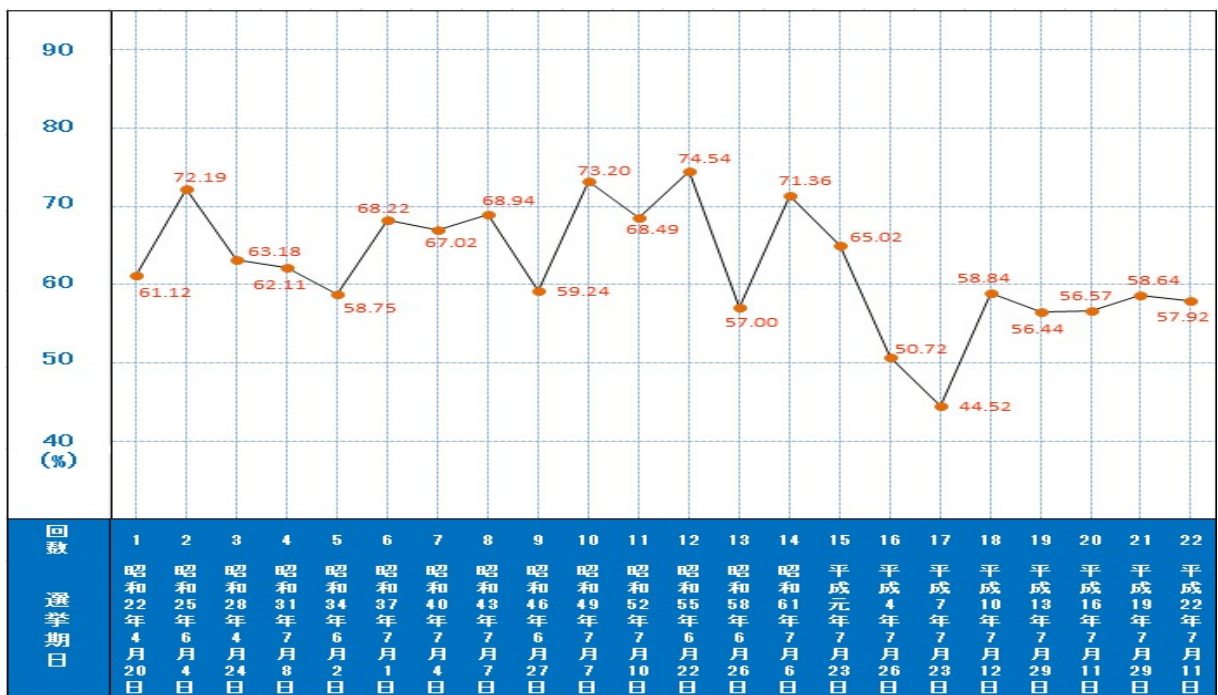
- (3) 平成26年4月、消費税率が現在の5%から8%に引き上げられる予定です。しかし、この消費税率を引き上げないようにするには、どうすればよいのでしょうか? 国民の一人として考えられることを、選挙や現代社会のさまざまなできごとと関連付けて答えなさい。

1. 次の説明文を読み、適語を選びなさい。

わが国では、憲法で、選挙権は(①)以上のすべての国民に保障されている。このように納税額や性別などで選挙権の有無が決まらないことを(②)という。また、一人一票の(③)、議員を直接選出する(④)、無記名で投票を行う(⑤)、の4原則のもとで選挙が行われている。

秘密選挙、 直接選挙、 普通選挙、 平等選挙、 20 歳、 18 歳

2. 下のグラフは、ある国会議員選挙の投票率の推移をあらわしている。これを見て、あとの各問いに答えなさい。



(<http://miekozine.w.up.n.seesaa.net/miekozine.w/image/img057.jpg?d=a188> から引用)

(公益財団法人明るい選挙推進協会)

- (1) 戦後、投票率が長期的に見て低下してきていることについて、その原因・理由は何だと思えますか。「権利」または「棄権」の語を使って文章で答えなさい。
- (2) 無投票(投票に行かない)と白票(投票用紙に誰の名も記入しない)のちがいは何でしょうか。国民の「政治参加」の視点から、文章で説明しなさい。
- (3) 投票率の低下を防ぐために、どのような取り組みが行われているのでしょうか。簡潔に文章で説明しなさい。
- (4) あなたは選挙権を18歳に引き下げることが必要だと思いますか、必要ないと思いますか。あなたの立場を明らかにし、その根拠・理由を述べなさい。